

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00~22 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	6 人	人	12 人

前回の改善計画
初回面会時の情報収集の方法として、ケアマネジャーだけでなく、介護従業者も同行して直接、ご本人、ご家族から情報を得ておく。 利用開始後は面接記録の情報が現状に添っているかを、各ケース担当者が確認し、必要な追加情報等は随時、記録としてまとめていく。 ご本人・ご家族との関係づくりをすることを意識して行えるよう申し送りやミーティングで常に確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
初回面会時の介護従業者の同行は実践できていないが、体験利用の際にご本人から話を聞くことで直接、情報を得たり、会議、記録や申し送りの機会を通して、ご本人やご家族の思いや情報を得られるように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	10 人	1 人	人	12 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	人	11 人	1 人	人	12 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1 人	11 人	人	人	12 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	9 人	1 人	1 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職員会議等に参加することで、新規利用者を始め、職員間で情報共有するように努めている。また、気になった点は記録をし、他の職員から情報が得られるように記録の把握や口頭での確認を都度、行っている。職員間で業務が実施できるように声掛けをしあっている。 同時にご利用者が慣れない環境に早く馴染めるように声掛けをし、どんなに忙しくても、ご利用者との会話で何を一番伝えたいかを真摯に傾聴し、笑顔で対応。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	送迎を実施していない等でご家族と会う機会が少ない職員がおり、関係づくりができておらず、結果、思いや考えを把握するに至っていない職員もいる。また、面接記録などから情報を得ているものの、十分な把握ができていないことや情報が更新されていないこともあり、支援の充実にはつながりにくい状況にある。同時に体験利用時の情報を記載するものがなく、結果体験利用時に得た情報も活用しにくい状況にある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・全職員が事前に情報シートに目を通しておき、面接記録の熟読、不明な点があれば確認するように図る。・利用開始後は面接記録の情報が現状に添っているかを、各ケース担当者が確認し、必要な追加情報等は随時、記録としてまとめていく。(継続)・家族と接することが少ない、もしくは、できない場合はご本人に積極的に聴く姿勢を持ち、可能な限りコミュニケーションをとり、その中で得た情報を職員間で口頭での伝達や記録に残し、共有する。・体験利用時の記録をつけて、利用開始時の初期支援につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	5 人	人	12 人

前回の改善計画

- 目標に基づいた個別のケアの方法については、毎日のケース記録に目標とサービス内容を記入し、実践できているかチェックしていく
- 個別ケアを話し合う会議を少なくとも月 1 回は持ち、全職員が発言して次の対応に生かせるシステムの機能を高めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員差はあるものの、毎日のケース記録にて、目標に即した記録をつけるように図っている。しかし、4 月から書式が変更したことや職員が新たに増えたことで目標の全周知の徹底が図りにくい状況にある。個別ケアに関わる話し合いは月 1 回、会議を開催するだけでなく、各職員から意見を得られるように事前に議題を収集できるように図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	人	9 人	3 人	人	12 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	人	10 人	2 人	人	12 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	人	4 人	8 人	人	12 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	人	5 人	6 人	1 人	12 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者から訴えがある際や「～したい」の言葉を真摯に傾聴する。また、会議への参加から他の職員の発言や日々の記録などから、その後のケアや日々の業務に生かせるよう図っている。同時にご利用者に身近なところから満足感、達成感が得られるような支援に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自己表現ができにくいご利用者の声が聴けておらず、言い出しにくい環境を作っていること、関わっている時間が少ないことでご本人に希望が聴けていないことが多く、ムラもある。また、書式の変更があったため、日々の目標の把握や確認に手間がかかり、ご利用者の声を要望と受け取り、御用聞きのような支援が継続されてしまうことが散見されている。個別ケアの理解が乏しいため、個別ケアの方法をケース記録に記入できていない。ケアの根拠や意味の把握が共有できておらず、ご利用者のその場での思いと自己実現の差を埋めるという認識が薄い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ご利用者担当者を中心に、日々の記録を確認すること、特に意思の発言がしにくい方には言動の観察、職員から話しかけにより、知り得たことや感じたことを記録やミーティングで共有していく。
- ・目標に基づいた個別のケアの方法については、毎日のケース記録に目標とサービス内容を記入し、実践できているかチェックしていく (継続)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	5人	人	12人

前回の改善計画
 ご本人の声にならない声をチームで共有し、継続したご本人らしい生活を支援するために、アセスメント力を高める必要があるため、各ケース担当職員が、ご本人の病状や精神状態、生活歴、価値観や生活習慣、日常の変化はすぐに毎日の記録にこまめに記入していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご利用者との関わりにムラがあったり、日常の関わりが少ないことや職員差があり、十分なアセスメントが実施できていない。日々の状況を記録に残すように図るが、ケース担当だけでは変化を細かく気づきにくいこともあり、職員一人ひとりの実践が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	人	1人	8人	3人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	人	11人	1人	人	12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	人	7人	5人	人	12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	8人	1人	人	12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	8人	3人	人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者に合わせて介護ができるよう、情報に基づいたケアを心掛けるだけでなく、職員会議を通して、ご利用者に合わせた食事形態、入浴等について職員間で話し合い、検討しており、ご利用者の思いなどを職員全員が共有できている。また、気持ちや体調の変化があった際には職員間で情報共有を図るようにしており、記録も残せるように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご利用者の言語以外から状況を読み取る能力が十分でないことから、ご利用者の様子から求められていることを読み取ることができていない。同時にアセスメント力を高められるような取り組みができておらず、職員個人の力量にまかせてしまっている面が強い。また、ケース担当の取り組みも職員個人差が生じてしまっている。「誰かが気付くだろう」、「やってくれるだろう」という他責の面がある。また、ケース担当が担う役割が明文化されておらず、共通認識できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・各自でケース記録に目を通し、日々、時々の変化を知るようにする。また、些細な事でも記録に残すようにする。
 ・ケース担当の役割を明文化する。
 ・各ケース担当職員が、ご本人の病状や精神状態、生活歴、価値観、生活習慣を情報収集する(アセスメント)能力を高めるため、ケア計画の変更時には、その項目を網羅した情報収集シートに基づいて、把握していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	5 人	1 人	12 人

前回の改善計画	地域の人との関係性については、ご本人とご家族からの情報をもとに把握し、状況判断してから、協力を求めたり、情報共有していく積極的な取り組みを行っていく。 地域ケア会議にできる限り出席し、民生委員や地域資源を把握していくよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	行方不明になる危険性の高いご利用者の地域の方、個人商店、地域施設等への働きかけができていた。同時に民生委員など協力体制もできている。職員によっては積極的に地域資源の情報収集を実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	人	5 人	7 人	人	12 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	人	8 人	4 人	人	12 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	人	2 人	9 人	1 人	12 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	人	4 人	6 人	2 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
行方不明になる危険性の高いご利用者の地域の方、個人商店、地域施設等への働きかけができていた。同時に民生委員など協力体制もできている。一人暮らしの方は、利用のない日には、電話連絡をして、生活状況を聞き取りしている。ご利用者と関わる中で日常での過ごし方や家族等との接しかたを情報収集できている。また、ご利用者と友人との関係の継続を支援し、関係が途切れない事業所利用との調整を実践している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との関わりを管理者任せにしており、業務優先となり地域ケア会議に参加できていない。また、柘野学区の地域の取り組みは参加しやすく情報も得やすいが、それ以外の地域では距離があり、働きかけができておらず、十分に地域資源が活用できていない。同時に地域の資源と各ご利用者が十分に結びついていない。職員によってはご家族にお会いする機会も少なく、生活状況の把握ができていない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・担当制にして地域ケア会議に参加する。地域ケア会議へ出席できない場合は参加者からその内容を知るようにする。 ・ご利用者の暮らしに必要な民生委員や地域資源を社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携を図り、活用していけるようにする。 ・地域での生活状況の把握は各ケース担当が、問題意識を持って、ご家族や近隣の方から収集するよう努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	9 人	3 人	人	12 人

<p>前回の改善計画</p> <p>各利用者様の日常生活や昔からの馴染みの人や店等のつながりを把握し、地域の資源を把握し、使っていくように努める。 ご本人の発言や様子等気付いたことは、毎日の記録に各職員が記入していく。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>ご利用者によっては馴染みの店に支援の協力を要請する等、実施しているが、特定の状況に偏ってしまっている。ご本人の発言や様子等気づいたことは記録に残すだけでなく、口頭で検討を図ったり、会議で検討するように努めている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	人	9 人	3 人	人	12 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1 人	10 人	1 人	人	12 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	人	8 人	4 人	人	12 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	人	7 人	5 人	人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>行方不明となる可能性の高いご利用者の情報を馴染みの店等に提供したり、ご家族の病気やご本人の支援が必要な状況に応じて、泊りや通い等の即時組み合わせでサービス提供できている。また、本人の体調、気分を把握、声掛けや食事量、水分量など、サービスの提供量、職員間で情報を共有しつつサービス提供をし、必要に応じて緊急時の対応等の柔軟に対応できている。日々の関わりは記録し、心身面に変化がある際は職員間でコミュニケーションを図り、情報共有を図っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご家族とご利用者の求めていることが異なり、対応しきていないことがある。結果、その時その時のご利用者のニーズに対応することが出来きれていないことがある。「訪問」の提供については、職員人数の問題から、早朝、夜間等ご希望時間に訪問できないことがある。「通い」も日中の定員が満員になっていることもあり、ご希望日に利用できないことがある。また、地域資源の把握ができておらず、地域のボランティアも一部分のみであり、限定されてしまっている。変化があった時や引継ぎを受けた時に不在の職員へのフォローや情報共有が十分に図れておらず、把握されていないことも生じている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者やご家族とコミュニケーションを図り、得られたことを情報共有する。また、各ご利用者のご自宅など、施設利用時以外でのご様子について、それを理解している職員から情報収集する。職員間の連絡・報告の確実性を図るために記録に残していき、口頭でも伝達する。 ・ご本人、ご家族のニーズに合わせたサービス提供を徹底して行うため、職員配置や勤務時間調整を可能な限り行っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00~22 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	6 人	2 人	12 人

前回の改善計画	<p>人員の充実を図り、会議や地域活動に出られる時間を作っていく。 地域の地藏盆やまつり、サロン、交流会には利用者様と参加していく。 地域のお店を使うことや近隣の人に積極的に挨拶や会話をし、顔なじみになり、事業所に来てもらえるよう努めていく</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>柘野まつり等の町内会、学区の催しなどには参加できるように時間を作っている。また、プレミアムで実施されている「ほとりサロン」に参加することで地域との交流が図れるように努めている。交流の際には積極的に挨拶や会話ができるように図っている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	人	2 人	6 人	4 人	12 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	人	2 人	4 人	6 人	12 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	人	3 人	6 人	3 人	12 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	人	人	7 人	5 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>可能な限り柘野学区のイベントは町内会、防災訓練、学区の催しなどには参加しており、地域住民により、歌や大正琴の演奏会を開催できている。また、納涼祭や福祉フェア等を開催することにより、地域の方が来訪されることがあった。以前と比較し、登録者以外の方が来所されることが少ないながらも出てきた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>土日に開催されるイベントが多いため、予定を事前に確認し、予定を組むことが出来ていないため、地域の活動やイベントへあまり参加できていない。また、参加利用者に偏りがある。また、関係者以外と関わることが少なく、その他のサービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議は特定の職員だけが参加しており、会議に出る機会がない。地域の方が事業所を訪れるような工夫が図れていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・人員の充実を図り、会議や地域活動に出られる時間を作っていく。また、地域の行事開催の情報を知る。それに照らし合わせた参加計画を早めに立てる。 ・地域の方が事業所に訪れられるよう、見学を呼びかけたり、イベントに参加して頂く等取り組んでいく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

7. 運営

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	7 人	4 人	12 人

前回の改善計画	町内会活動や地域の防災活動での連携を今後図っていけるようにする。また、中学校のチャレンジ体験に参画するなどの取り組みをおこなっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	防災訓練等の参加、チラシを事業所に貼り、意識を高めている。法人としても防災活動に参加を図っている。中学校のチャレンジ体験に参画することができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1 人	6 人	2 人	3 人	12 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	人	10 人	1 人	1 人	12 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	人	5 人	4 人	3 人	12 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	人	4 人	5 人	3 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者やご家族からの苦情に対しては、法人規程の苦情処理の流れに基づき、対応しており、即時処理をし、内容についてミーティングで共有し、運営に反映している。また、地域の声も含め運営に反映できるように図れている。また、夏祭りや演奏会などで地域の方にボランティアで来ていただいたり、地域の活動に参加したり、防災訓練等の参加、チラシを事業所に貼り、意識を高めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を考える機会を持っておらず、把握できていない。また、通常業務のことで十分に検討することができておらず、地域の学校や社会資源への働きかけができておらず、チャレンジ体験の参加や認知症サポートキャラバンの育成などが実施できていない。地域の方々、地域の活動へ接する (参加する) 機会が少なく、地域の方々と協働したり、取り組みが積極的にできているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災活動等でコミュニティーホールを活用していくことで、事業所の近くにきていただける機会を作っていく。 ・チャレンジ体験への参画を実現し、地域の拠点となるよう活動を積み重ねる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9 人	人	3 人	12 人

前回の改善計画	現場の職員を充実させて、研修会や連絡会に参画していくことに努める。 リスクマネジメントの強化として、危機予知訓練 (KYT) を事業所内で行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	現場職員は増えたが退職した職員もいるため、充実とまで図れていない。研修などの参加はあるが、リスクマネジメントの強化が図りきれていない。危険予知訓練 (KYT) 研修は、7 月に実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5 人	7 人	人	人	12 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3 人	2 人	4 人	3 人	12 人
③	地域連絡会に参加していますか	人	1 人	4 人	7 人	12 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 人	10 人	1 人	人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修の機会を設け、実施できており、参加できている職員も多い。また、一部の職員ではあるが、職場外の研修に参加しており、スキルアップへつなげるように努められている。また、リスクマネジメントの取り組みとしてヒヤリハット報告書の作成は意識して実施できるように努めたり、ヒヤリハット・事故報告書で情報を共有したり、会議にてリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との関わりについて重要性に対する意識が低く、地域との関わりがあまりできていない。また、自主性に任せてしまっており、外部研修の参加を勧めることができていない。日程的に困難で地域連絡会に参加できていない。事業所の研修は、正職員は、業務以外は参加しているが、非常勤職員は参加する職員としない職員が偏ってきている。ヒヤリハットを情報共有として提出できておらず、リスクマネジメントに関する取り組みが乏しく、日常業務の中での危険予知ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 外部研修でスキルアップを図れる内容のものは、管理者とリーダーが検討し、職員が業務として参加していく。また、参加した職員が内容を他職員に伝える研修を行う。 事業所内研修の開催時間を参加しやすい時間にすることや 2 回に分けて開催する等の全員参加ができる取り組みを行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 30 日 (21 : 00 ~ 22 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 鳴瀧知恵、西澤静、濱元直樹、田丸友紀子、阿部優依、阪紀子、四方宏樹、三谷美咲、松本健宏、佐々木友美、山本裕子、富樫さち子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画	フロア内での利用者様の情報交換は他利用者に聞こえないよう配慮し、事務所内で行うこととする。書庫には鍵をかけ、パソコンは席を離れる際に最小化にする、スクリーンセーバーをかける。成年後見人制度の手続き方法や情報をご本人、ご家族に伝え、制度利用の支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	状況により排泄に関することを大きな声掛けが必要な場合もあり、十分な配慮ができていないかの判断が難しいが、考慮するようにこころがけている。個人情報書庫にて保管できている。職員差はあるが、パソコンにはスクリーンセーバーを掛けたり、ご利用者に関する書式等は裏側に伏せ直接目に触れないように努める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9 人	3 人	人	人	12 人
②	虐待は行われていない	10 人	2 人	人	人	12 人
③	プライバシーが守られている	4 人	6 人	2 人	人	12 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3 人	4 人	2 人	3 人	12 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3 人	6 人	1 人	2 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員全員がご利用者に対して身体拘束や虐待を行っていない。また、研修などで重ねて人権・プライバシーについて勉強しており、プライバシーについて意識を高めており、気づいたことに改善する努力は見られる。職員差はあるが、パソコンにはスクリーンセーバーを掛けたり、ご利用者に関する書式等は裏側に伏せ、直接目に触れないように努めている。ご利用者の情報を引き継ぐ際は、周囲のご利用者に配慮し、聞こえないように他職員と情報交換をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者の人数が増えてきており、ご利用者のご要望に即座に言動に移せないことがあり、職員の態度で思いの表出を妨げていることがある。結果、不適切なケアにつながるかとの危惧も考えられる。また、何が個人情報で何がプライバシーなのか職員一人ひとりの気づきが乏しく、細かい部分まで個人情報を管理できていないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の言動で、ご利用者に制限をかけてしまうような不適切なケアがないか、ミーティングや研修で話し合い、互いをチェックしていく。研修で、個人情報保護の根本的基本的な理解と実行を図る。 ・ フロア内でのご利用者の情報交換は他利用者に聞こえないよう配慮し、事務所内で行うこととする。 ・ 書庫には鍵をかけ、パソコンは席を離れる際に最小化にする、スクリーンセーバーをかける。(継続) ・ 成年後見人制度の手続き方法や情報をご本人、ご家族に伝え、制度利用の支援をしていく。(継続) 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 柘野福祉会	代表者	東山和幸	法人・ 事業所 の特徴	・社会福祉法人柘野福祉会は、京都市内で高齢者福祉施設やサービスを多分野（11分野 23 事業所）にわたって運営している法人です。33年の歴史があり、地域のニーズに応えるべく、特に地域密着型サービスに重点をおいた事業展開を行っています。小規模多機能型居宅介護も京都市内で最も早く運営を開始した実績があり、現在では4事業所を運営しています。ガーデンハウス上賀茂は、平成27年3月に開設した事業所で、法人の本拠地である柘野圏域であり、地域とのつながりや連携が容易にできるところが特徴となっています。
事業所名	ガーデンハウス上賀茂	管理者	鳴瀧知恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	1人	1人	人	人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①開設から2年目に入るため、全職員が同じ専門職としての高い意識を持って行けるよう、職員会議や研修内容を充実していく。</p> <p>②リスクマネジメント体制強化として、研修やヒヤリハット報告、事故分析を徹底して行う。</p> <p>③情報収集や情報共有を初期支援時にケアマネジャーや介護職員、看護職員が収集シートに基づき行い、個別ケアについての実施や目標達成状況をケース記録に記載している取り組みを行う。</p>	<p>①職員会議には、パート含め8割程度は参加できている。欠席者は議事録確認をし共有化している。毎月、研修を開催することができた。参加率をあげるための工夫が必要となる。</p> <p>②毎月、ヒヤリ・事故の話し合いを行い分析や具体策を検討している。</p> <p>③初期支援時はケアマネジャーの情報収集が中心になっている。看護師や介護職の情報収集、課題分析ができていない。</p>	<p>・書式が難しくわかりにくい、もう少し、まとめた方が良い。</p> <p>・整理するのが、難しい。</p> <p>・会議、研修に8割参加しており、今後も継続して行ってほしい。</p>	<p>①職員会議・ケア会議、毎月の研修には、全職員が参加しやすい日時を設定し、欠席者には確実に伝達していける体制をとる。</p> <p>②事故やヒヤリの分析を詳細に行い、ミーティングで共有する。重大事故については、繰り返し分析を行う。</p> <p>③利用初期の情報共有として、体験利用時の記録を詳細につける。利用開始後には、面接記録に各ケース担当が必要な追加情報を記録し、共有する。</p> <p>④目標に基づいた個別のケアの方法については、毎日のケース記録に目標とサービス内容を記入し、実践できているかチェックする。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>①テーブル席に座っていると疲れてこられる方もいるため、席から離れて一息つける工夫をしていく。館内ロビーのソファや事業</p>	<p>①日中の利用者数が多くなり、席の間隔が狭くなって、移動がしづらい面もあった。ソファや座席の配置の変更により、ゆったりと過</p>	<p>・ご利用者だけでなく、ご家族や地域の人が事業所に来てもらえる機会を増やすことで、事業所の環境や体制について、もっと理解</p>	<p>①利用者様の状況に合わせた席の配置や空間づくりを行っていく。引き続き、ロビーや和室の活用でくつろげるようにする。</p>

	<p>所内の和室でくつろいで頂けるようにし、居心地よく過ごして頂く。</p> <p>②事業所内の不快な臭い対策は、掃除や換気をこまめに行い、消臭スプレー、消臭剤の活用を引き続き行っていく。</p>	<p>ごして頂けるようにしている。和室の活用ができていない。</p> <p>②掃除や換気はこまめに行うことができた。臭気対策は都度、検討している。</p>	<p>してもらえと思う。</p>	<p>②日中はできる限り、玄関を解放し、ご家族や地域の方が入りやすいように工夫する。</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①地域のお店使うことや近隣の人に積極的に挨拶や会話をして、顔なじみになり、事業所に来てもらえるよう努めていく。</p> <p>②人員の充実を図り、圏域4学区の地域ケア会議の参加や柘野学区での行事に参加していく。</p> <p>③小中学校との交流をするため、チャレンジ体験の受け入れを行っていくことや、認知症サポーター研修を実施していく。</p>	<p>①近隣の理容店、美容院を利用したり、演奏会をしに来られたり、少しずつ馴染みの人もできている。</p> <p>②圏域4学区の地域ケア会議への参加ができていないことが多い。特に午前開催には参加ができていない。柘野まつり、三世代交流には参加できた。</p> <p>③小中学校との交流ができていない。</p>	<p>・イベントの手伝いの要請があれば、参加する。参加することで事業所のことも把握しやすい。ちょっとしたことでも気づけることがあるので、引き続き参加していきたい。</p> <p>・立地的に地域の方が入りやすい場所ではないので、小中学校のチャレンジ体験やイベントごとに参加してもらうことで、事業所の発信につながるのではないかと。</p>	<p>①地域の方が事業所に訪れられるよう、見学を呼びかけたり、イベントに参加して頂く等取り組んでいく。</p> <p>②担当制にして地域ケア会議に参加する。地域ケア会議へ出席できない場合は参加者からその内容を知るようにする。</p> <p>③チャレンジ体験への参画を実現し、地域の拠点とされるよう活動を積み重ねる。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①地域の人との関係性については、ご本人とご家族からの情報をもとに把握し、状況判断してから、近隣の方に積極的に協力を求めたり、情報共有をしていく積極的な取り組みを行っていく。</p> <p>②地域ケア会議にできる限り出席し、民生委員や地域資源を把握していくよう努める。</p> <p>③地域のお祭り、サロン、交流会には利用者様と参加していく。</p>	<p>①地域の見守りが必要な事例では、近隣の住民や社協、民生委員、関係機関と連携を取ることができた。</p> <p>②地域資源の把握は十分できていない。</p> <p>③柘野学区のまつりやサロンには適宜参加することができた。</p>	<p>・ご利用者が地域の行事に参加することで、周囲への理解につながることもあるので、積極的に参加してほしい。</p> <p>・(介護保険の事業所が)身近なものにならないと、地域の方の理解は難しい。</p> <p>⇒ 困ったときに相談していただいたりできれば、良いのではないかと。</p>	<p>①地域での生活状況の把握は各ケース担当が、問題意識を持って、ご家族や近隣の方から収集するよう努める。</p> <p>②ご利用者の暮らしに必要な民生委員や地域資源を社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携を図り、活用していけるようにする。</p> <p>③会議や地域活動に出られる時間を作っていく。また、地域の行事開催の情報を知る。それに照らし合わせた参加計画を早めに立てる。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①運営推進会議で出た意見を職員ミーティングで報告し、話し合いを行い、確実に改善につなげていけるようにする。 ②心配な方のケースを相談できる機会にし、そこから地域での連携できる面は不足している資源を考えていく機会にする。</p>	<p>①服薬事故等の改善策について出された意見をミーティングで話しあい、改善につなげている。 ②一人暮らしで、心配な方には、会議で協力を求めたり、委員の方から提案を頂いたりすることはできた。</p>	<p>・事故をなくすために、改善策も具体的に考えられているので、今後も続けてもらいたい。運営推進会議の意見も反映してもらいたい。</p>	<p>①運営推進会議で、事業所の取組（研修計画、防災計画等含む）や報告を詳細に行い、評価を頂く。 ②評価やご意見をミーティングで話し合い、確実に改善つなげていく。 ③心配な方のご相談や協力依頼を行っていく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>①事業所の消防訓練を徹底して行う。 ②柘野学区の防災訓練には、利用者様と一緒に参加する。 ③事業所の防災訓練に地域の自主防災委員の方にも参加していただく。 ④自主防災会と事業所としての役割を明確にするため、話し合いを行う。</p>	<p>①年2回の避難訓練に加え、風水害想定の実践を実施することができた。 ②柘野学区の防災訓練に参加することができなかった。 ③避難訓練に地域の方の参加をして頂くことはできていない。 ④法人全体で、自主防災会との連携を進めている。</p>	<p>地震、水害、土砂災害がこの地域で起こる可能性が指摘されているため、連携をうまく図っていききたい。</p>	<p>①地域の防災活動等（救急救命講習）でコミュニティーホールを活用していくことで、事業所の近くにきていただける機会を作っていく。 ②柘野学区の防災訓練の参加や自主防災との連携の計画を法人全体で取り組んでいく。</p>